

令和7年度全国児童自立支援施設職員研修実施要綱

「子どもの育ちをつなぐ職員のまなざしと、施設の役割」

1. 目的 児童自立支援事業に対する認識を深め、職員としての専門的知識を習得し、職務遂行能力および自己啓発意欲を高めることを目的とする。
2. 主催 こども家庭庁支援局
3. 運営 国立武蔵野学院附属人材育成センター
4. 場所 国立武蔵野学院又は国立きぬ川学院
5. テーマ・日程・申込み〆切 (各研修の概要は次頁以降の各研修概要のとおり)

研修種別・テーマ	期 間	募集人数	〆切
新任施設長研修〔前期：武蔵野学院 後期：きぬ川学院〕 「子どもと職員の育ちをつなぐ施設運営」 ※前後期とも必修 (法)	令和7年5月13日～5月15日 令和7年10月21日～10月23日	30名	4/14 (月) 必着
スーパーバイザー研修〔武蔵野学院〕 「子どもの育ちをつなぐ職員の育成とスーパーバイザーの役割」	令和7年9月16日～9月19日	30名	6/13 (金) 必着
中堅職員研修 コースⅠ〔きぬ川学院〕 「性被害の理解と支援」	令和7年9月2日～9月5日	8名	
中堅職員研修 コースⅡ〔武蔵野学院〕 「子どもの想いをとらえる養育とは」	令和7年11月18日～11月21日	30名	7/31 (木) 必着
中堅職員研修 コースⅢ〔武蔵野学院〕 「子どものもつ家族像と退所に向けたソーシャルワーク」	令和8年1月20日～1月23日	30名	
中堅職員研修 実習コース 「子どもの想いをとらえる養育とは」			6/13 (金) 必着
① 第1グループ〔武蔵野学院〕	令和7年9月30日～10月3日	8名	
② 第2グループ〔きぬ川学院〕	令和7年12月9日～12月12日	6名	
新任職員研修〔前期後期ともに武蔵野学院〕 「児童自立支援施設における子どもと職員の育ち」 ※前後期とも必修	令和7年7月23日～7月25日 令和8年2月3日～2月5日	30名	4/30 (水) 必着
新任職員研修 実習コース 「児童自立支援施設における子どもと職員の育ち」			4/18 (金) 必着
① 第1グループ〔武蔵野学院〕	①令和7年6月10日～6月13日	各回 8名	
② 第2グループ〔武蔵野学院〕	②令和7年6月24日～6月27日		
③ 第3グループ〔武蔵野学院〕	③令和7年7月8日～7月11日		
① 第4グループ〔きぬ川学院〕	④令和7年6月3日～6月6日	各回 6名	
② 第5グループ〔きぬ川学院〕	⑤令和7年6月17日～6月20日		
③ 第6グループ〔きぬ川学院〕	⑥令和7年11月25日～11月28日		
事例検討セミナー〔武蔵野学院+オンライン〕 「児童自立支援施設におけるケースカンファレンスのあり方 ～子どもと職員の育ちのために～」	①令和7年5月27日～5月28日 (参集) ②令和7年6月～令和8年2月 (毎回オンラインで2時間程度) ③令和8年3月3日～3月4日 (参集)	9名 以内	4/14 (月) 必着

6. 参加申込み方法

- (1) 申込み：申込書（Word）に必要事項を全て入力し、メールにて申込書を送付してください。
(宛先：musashino.kensyu@cfa.go.jp)。なお、やむを得ない場合のみ、PDF又は郵送でも受け付けます。

※必要事項が全て記入されていない場合、受け付けられないことがあります。

※申込数が募集人数を超えた場合は参加の可否について、事務局からご連絡いたします。選考の際に、経歴を参考にする場合があります。申込書の経歴の部分は詳細にお書きください。

※参加決定通知及び詳細な要綱については、参加所属長宛に概ね研修2ヶ月前に送付します。

※ここ数年、各自治体間のメールシステム・セキュリティシステムの違いから、ファイルを添付すると届かないという事態が何件もあり、申込みが漏れるということがありました。メール送信の際には、開封通知をつけるなど、確認がとれるようにして申込みが漏れないようにしていただけますようお願いいたします。

7. その他

- ・各研修で、初日に交流会を予定しています。
- ・諸般の事情により、日程及び内容、費用に変更が生じる場合がありますことを、予めご了承ください。特に費用については、昨今の状況による変動が大きくなる可能性があります。

<事務局（申込先）>

国立武蔵野学院附属人材育成センター 研修課

〒336-0963 さいたま市緑区大字大門 1030 番地

TEL 048-878-1260（音声案内2番）

FAX 048-878-1244

E-mail musashino.kensyu@cfa.go.jp

全国児童自立支援施設 新任施設長研修 「子どもと職員の育ちをつなぐ施設運営」

1. 目的 児童自立支援施設の役割を理解し、子どもの権利擁護や人材育成等、社会からのニーズに対応し、子どもと職員が育つ施設運営を学ぶ
- ※児童福祉施設の設備及び運営に関する基準第81条に定める要件研修
2. 対象者 令和6年4月1日以降に着任した施設長および着任予定の者
3. 期間 前期 令和7年5月13日（火）～5月15日（木）
OJT 令和7年5月16日（金）～10月20日（月）
後期 令和7年10月21日（火）～10月23日（木）（前後期とも必修）
4. 場所 前期 国立武蔵野学院
OJT 各施設
後期 国立きぬ川学院
5. 内容（予定）
- （1）事前レポート課題
前期、後期ともに子どもの権利擁護に関する内容を、昨今の児童福祉行政の動きにあわせて設定する。後期については、前期からの内容について検討するものとする。
- （2）講義及び演習
児童家庭福祉行政、児童自立支援施設の歴史及び事業概論、子どもの権利擁護、子どもの養育の質の向上、被措置児童等虐待の予防、児童精神医学、子どもの暴力や性などのテーマから講義、演習を行うことで、意見交換し、議論を深めることで施設運営についての理解を深める。また、研修日程中に国立武蔵野学院、国立きぬ川学院の見学も予定している。
6. 費用 前期 16,000円程度（寝具レンタル料、食費等）
後期 7,000円程度（食費等）
- ※費用については、昨今の物価高騰等の影響を受け変動する可能性があります。
※後期研修については、宿泊費が別途かかります。
※前期後期ともに、初日に交流会を予定しています。
7. 申込み 令和7年4月14日（月）必着
申込書（Word）に必要事項を全て入力し、メールにて申込書を送付してください。
（宛先：musashino.kensyu@cfa.go.jp）
※必要事項が全て記入されていない場合、受け付けられないことがあります。
なお、やむを得ない場合のみ、PDF又は郵送でも受け付けます。
※ここ数年、各自治体間のメールシステム・セキュリティシステムの違いから、ファイルを添付すると届かないという事態が何件もあり、申込みが漏れるということがありました。メール送信の際には、開封通知をつけるなど、確認がとれるようにして申込みに漏れがないようにしていただけますようお願いいたします。

全国児童自立支援施設 スーパーバイザー研修

「子どもの育ちをつなぐ職員の育成とスーパーバイザーの役割」

1. テーマ 「子どもの育ちをつなぐ職員の育成とスーパーバイザーの役割」
2. 目的 職員を育てる施設文化を構築するチーム養育とケースマネジメント、スーパーバイズのあり方を学び、人材育成について考える。
3. 対象者 児童自立支援施設経験5年以上の者あるいは、スーパーバイザー又は指導的立場にある者
4. 期間 令和7年9月16日（火）～9月19日（金）
5. 場所 国立武蔵野学院（宿泊研修）
6. 内容
 - (1) 事前レポート課題「児童自立支援施設におけるスーパーバイズのあり方」（仮）
「事例レポート」（仮）
 - (2) 講義及び演習
児童家庭福祉行政、児童自立支援運営論、ケースマネジメント、スーパーバイズのあり方、チーム養育、人材育成、子どもの権利擁護、被措置児童等虐待の防止、また、研修日程中に国立武蔵野学院の見学も予定している。
7. 費用 21,000円程度（寝具レンタル料、食費等）
※初日に交流会を予定しています。
8. 申込 令和7年6月13日（金）必着
申込書（Word）に必要事項を全て入力し、メールにて申込書を送付してください。
（宛先：musashino.kensyu@cfa.go.jp）
※必要事項が全て記入されていない場合、受け付けられないことがあります。
なお、やむを得ない場合のみ、PDF又は郵送でも受け付けます。
※ここ数年、各自治体間のメールシステム・セキュリティシステムの違いから、ファイルを添付すると届かないという事態が何件もあり、申込みが漏れるということがありました。メール送信の際には、開封通知をつけるなど、確認がとれるようにして申込みが漏れないようにしていただけますようお願いいたします。

全国児童自立支援施設 中堅職員研修コースⅠ

「性被害の理解と支援」

1. テーマ 「性被害の理解と支援」
2. 目的 専門性をより向上させるための高度な知識と技術を学ぶステップアップ研修
3. 対象者 児童自立支援施設での勤務経験が原則2年以上のケアワーカー・心理職員・教員など
4. 期間 令和7年9月2日（火）～9月5日（金）
5. 場所 国立きぬ川学院（宿泊研修）
6. 内容 (1) 事前レポート課題「事例レポート～性被害を受けた児童への対応～」
(2) 講義及び演習
児童家庭福祉行政、子どもの権利擁護と被措置児童等虐待の防止、性被害を受けた子どもの理解と生活支援、性被害を受けた子どもと支援者のための心理教育、生活内で子どもから性被害の開示があったときの対応、関係機関連携などの講義、演習を通して、性被害体験を抱える子どもへの理解を深め、スキルアップを図る。また、研修日程中に国立きぬ川学院の見学も予定している。
7. 費用 10,000円程度（寝具クリーニング料、食費等）
※初日に交流会を予定しています。
8. 申込み 令和7年6月13日（金）必着
申込書（Word）に必要事項を全て入力し、メールにて申込書を送付してください。
(宛先：musashino.kensyu@cfa.go.jp)
※必要事項が全て記入されていない場合、受け付けられないことがあります。
なお、やむを得ない場合のみ、PDF又は郵送でも受け付けます。
※ここ数年、各自治体間のメールシステム・セキュリティシステムの違いから、ファイルを添付すると届かないという事態が何件もあり、申込みが漏れるということがありました。メール送信の際には、開封通知をつけるなど、確認がとれるようにして申込みに漏れがないようにしていただけますようお願いいたします。

全国児童自立支援施設 中堅職員研修コースⅡ

「子どもの想いをとらえる養育とは」

1. テーマ 「子どもの想いをとらえる養育とは」
2. 目的 専門性をより向上させるための高度な知識と技術を学ぶステップアップ研修
3. 対象者 児童自立支援施設での勤務経験が原則2年以上のケアワーカー・心理職員・教員など
4. 期間 令和7年11月18日（火）～11月21日（金）
5. 場所 国立武蔵野学院（宿泊研修）
6. 内容 (1) 事前レポート課題「子どもの想いをとらえる養育環境とは」（仮）
「事例レポート」（仮）

(2) 講義及び演習
児童家庭福祉行政、子どもの育ちのアセスメント、児童自立支援施設におけるチーム養育、子どもの権利擁護、被措置児童等虐待の防止、機関連携、事例検討などを通して、中堅職員としてのスキルアップを図る。また、研修日程中に国立武蔵野学院の見学も予定している。
6. 費用 21,000円程度（寝具レンタル料、食費等）
※初日に交流会を予定しています。
7. 申込み 令和7年7月31日（木）必着
申込書（Word）に必要事項を全て入力し、メールにて申込書を送付してください。
(宛先：musashino.kensyu@cfa.go.jp)
※必要事項が全て記入されていない場合、受け付けられないことがあります。
なお、やむを得ない場合のみ、PDF又は郵送でも受け付けます。
※ここ数年、各自治体間のメールシステム・セキュリティシステムの違いから、ファイルを添付すると届かないという事態が何件もあり、申込みが漏れるということがありました。メール送信の際には、開封通知をつけるなど、確認がとれるようにして申込みに漏れがないようにしていただけますようお願いいたします。

全国児童自立支援施設 中堅職員研修コースⅢ 「子どもがもつ家族像と退所に向けたソーシャルワーク」

1. テーマ 「子どもがもつ家族像と退所に向けたソーシャルワーク」
2. 目的 専門性をより向上させるための高度な知識と技術を学ぶステップアップ研修
3. 対象者 児童自立支援施設での勤務経験が原則2年以上のケアワーカー・心理職員・教員など
4. 期間 令和8年1月20日（火）～1月23日（金）
5. 場所 国立武蔵野学院（宿泊研修）
6. 内容 (1) 事前レポート課題「各施設におけるソーシャルワークの現状と課題」（仮）
「事例レポート」（仮）

(2) 講義及び演習
児童家庭福祉行政、子どもと家族のアセスメント、児童自立支援施設におけるソーシャルワークとは、関係機関連携、、子どもの権利擁護と被措置児童等虐待の防止、事例検討などを通して子どもと家族の理解、ソーシャルワークに関する理解を深め、スキルアップを図る。また、研修日程中に国立武蔵野学院の見学も予定している。
6. 費用 21,000円程度（寝具レンタル料、食費等）
※初日に交流会を予定しています。
7. 申込み 令和7年7月31日（木）必着
申込書（Word）に必要事項を全て入力し、メールにて申込書を送付してください。
（宛先：musashino.kensyu@cfa.go.jp）
※必要事項が全て記入されていない場合、受け付けられないことがあります。
なお、やむを得ない場合のみ、PDF又は郵送でも受け付けます。
※ここ数年、各自治体間のメールシステム・セキュリティシステムの違いから、ファイルを添付すると届かないという事態が何件もあり、申込みが漏れるということがありました。メール送信の際には、開封通知をつけるなど、確認がとれるようにして申込みが漏れないようしていただけますようお願いいたします。

全国児童自立支援施設 中堅職員研修 実習コース

「子ども想いをとらえる養育とは」

1. 目的 実習を中心としたプログラムにより、子どもの理解、具体的な支援を学ぶステップアップ研修
2. 対象者 児童自立支援施設での勤務経験が原則2年以上のケアワーカー・心理職員・教員など
3. 期間 1グループ（国立武蔵野学院）令和7年9月30日（火）～10月 3日（金）
2グループ（国立きぬ川学院）令和7年12月9日（火）～12月12日（金）
4. 場所 1グループ・・・国立武蔵野学院（宿泊研修）
2グループ・・・国立きぬ川学院（宿泊研修）
5. 内容 (1) 事前レポート課題「子どもの想いをとらえる養育とは」（仮）

(2) <1グループ> 国立武蔵野学院
国立武蔵野学院概要、施設見学、武蔵野学院における寮舎運営、武蔵野学院における学校教育、寮舎実習など

<2グループ> 国立きぬ川学院
国立きぬ川学院概要、性被害を受けた子どもの理解と生活支援、距離感のワーク、寮舎実習など
6. 費用 <1グループ> 13,000円程度（寝具レンタル料、食費等）
<2グループ> 10,000円程度（寝具クリーニング料、食費等）
※初日に交流会を予定しています。
7. 申込み 令和7年6月13日（金）必着
申込書（Word）に必要事項を全て入力し、メールにて申込書を送付してください。
(宛先：musashino.kensyu@cfa.go.jp)
※必要事項が全て記入されていない場合、受け付けられないことがあります。
なお、やむを得ない場合のみ、PDF又は郵送でも受け付けます。
※ここ数年、各自治体間のメールシステム・セキュリティシステムの違いから、ファイルを添付すると届かないという事態が何件もあり、申込みが漏れるということがありました。メール送信の際には、開封通知をつけるなど、確認がとれるようにして申込みに漏れないようにしていただけますようお願いいたします。

全国児童自立支援施設 新任職員研修

「児童自立支援施設における子どもと職員の育ち」

1. 目的 児童自立支援施設における基本的な心構え、知識、技術を学ぶ基礎研修
(講義と演習による)
2. 対象者 児童自立支援施設での勤務経験が原則2年未満の者
3. 期間 前期 令和7年 7月23日(水)～7月25日(金)
OJT 令和7年 7月26日(土)～令和8年 2月 2日(月)
後期 令和8年 2月 3日(火)～2月 5日(木)
※前後期とも必修
4. 場所 前期 国立武蔵野学院(宿泊研修)
OJT 各自施設
後期 国立武蔵野学院(宿泊研修)
5. 内容 (1) 事前レポート課題
前期 「児童自立支援施設で働くうえでのやりがいと困難」等(予定)
後期 前期研修で決定、事例レポート(予定)

(2) 講義及び演習
児童自立支援概論、子どもと家族のアセスメント、子どもの育ちのための養育、児童自立支援施設の養育者としての役割、国立武蔵野学院における寮舎運営、関係機関連携などの講義を通して日々の養育に関する理解を深め、またグループ討議などを通して、情報交換、意見交換を行うことで、日々の業務を振り返ることで、スキルアップを図る。
6. 費用 前期 16,000円程度(寝具レンタル料、食費等)
後期 16,000円程度(寝具レンタル料、食費等)
※前期後期ともに、初日に交流会を予定しています。
7. 申込み 令和7年4月30日(水)必着
申込書(Word)に必要事項を全て入力し、メールにて申込書を送付してください。
(宛先: musashino.kensyu@cfa.go.jp)
※必要事項が全て記入されていない場合、受け付けられないことがあります。
なお、やむを得ない場合のみ、PDF又は郵送でも受け付けます。
※ここ数年、各自治体間のメールシステム・セキュリティシステムの違いから、ファイルを添付すると届かないという事態が何件もあり、申込みが漏れるということがありました。メール送信の際には、開封通知をつけるなど、確認がとれるようにして申込みに漏れないようにしていただけますようお願いいたします。

全国児童自立支援施設 新任職員研修 実習コース

「児童自立支援施設における子どもと職員の育ち」

1. 目的 児童自立支援施設における基本的な心構え、知識、技術を学ぶ基礎研修
(講義・演習と寮舎実習を組み合わせたコース)
2. 対象者 児童自立支援施設で勤務経験が原則2年未満の者
3. 期間

1グループ	令和7年	6月10日(火)	～	6月13日(金)
2グループ	令和7年	6月24日(火)	～	6月27日(金)
3グループ	令和7年	7月8日(火)	～	7月11日(金)
4グループ	令和7年	6月3日(火)	～	6月6日(金)
5グループ	令和7年	6月17日(火)	～	6月20日(金)
6グループ	令和7年	11月25日(火)	～	11月28日(金)
4. 場所

1・2・3グループ	国立武蔵野学院
4・5・6グループ	国立きぬ川学院
5. 内容
 - (1) 事前レポート課題「児童自立支援施設で働くうえでのやりがいと困難」等(予定)
 - (2) 第1～3グループ(国立武蔵野学院)
国立武蔵野学院概要、施設見学、寮舎実習、国立武蔵野学院における寮舎運営、学校教育など
 - (3) 第4～5グループ(国立きぬ川学院)
国立きぬ川学院概要、施設見学、寮舎実習、国立きぬ川学院における寮舎運営、学校教育など
6. 費用

<第1～3グループ>	13,000円程度(寝具レンタル料、食費等)
<第4～6グループ>	10,000円程度(寝具クリーニング料、食費等)

※各研修、初日に交流会を予定しています。
7. 申込み 令和7年4月18日(金)必着
申込書(Word)に必要事項を全て入力し、メールにて申込書を送付してください。
(宛先: musashino.kensyu@cfa.go.jp)
※必要事項が全て記入されていない場合、受け付けられないことがあります。
なお、やむを得ない場合のみ、PDF又は郵送でも受け付けます。
※ここ数年、各自治体間のメールシステム・セキュリティシステムの違いから、ファイルを添付すると届かないという事態が何件もあり、申込みが漏れるということがありました。メール送信の際には、開封通知をつけるなど、確認がとれるようにして申込みが漏れないようにしていただけますようお願いいたします。

全国児童自立支援施設 連続事例検討セミナー
「児童自立支援施設におけるケースカンファレンスのあり方
～子どもと職員の育ちのために～」
(参集型とオンラインの組合せ)

1. 目的 担当する子どもの育ち、家族のあり方を詳細に検討していく中で、受講者自身の支援、チーム・組織の支援を振り返り理解を深めることで、支援の幅を広げていくこと、そして、そのことを通して、発表する者の育ちにつなげていくことを目的とした研修
2. 対象者 児童自立支援施設での勤務経験が8年以上の者、または当センター開催のSV研修あるいは中堅職員研修参加経験の有る者、かつ寮担当など直接処遇職員で、指導的立場にある者（準ずる者も含む）。全日程参加できる者に限る。
3. 期間 初回 令和7年5月27日（火）、28日（水） [国立武蔵野学院]
2回～7回 令和7年6月～令和8年2月の間で月1回（2時間）程度開催 [オンライン]
※回数は参加者数による
※日程は初回に決定
最終回 令和8年3月3日（火）、4日（水） [国立武蔵野学院]
4. 場所 武蔵野学院およびオンライン
5. 内容 (1) 初回
参加者が一堂に会し、一年間行う研修の目的の確認をし、カンファレンスのもつ意義等についての講義を外部講師（スーパーバイザー）にさせていただき、実際に事例検討を行う。

(2) オンライン事例検討（6月～3月）
毎回、参加者から事例を提出してもらい、1事例2時間の枠で、子どもと家族の理解と支援方針を深める。
原則参加者は年間1回事例を提出する。事例検討には、外部講師にスーパーバイザーとして出席してもらう（精神科医、直接処遇経験の長い方）。

(3) 最終回

◎本研修は、担当している事例を改めてまとめ、発表することを通して、参加者自身の実践、子どもへの関わり、支援者としてのあり方を振り返ることを目的としている。
◎検討会は助言者からだけでなく、参加者同士での議論も含まれる。自身の事例について、様々な角度で意見をもらうことは今後の支援の展開にも豊かな結果をもたらす。
◎本研修における個々の事例検討会は、提出した事例の展開、関わりが正しかったか否かを検討することが目的ではなく、参加者自身が自らの実践を振り返ること、そして明日からできることを検討するものである。
◎自身の事例だけでなく、他の参加者の事例を通して自らの実践を振り返ることにも本研修の特徴がある。
◎こうした事例検討の取り組みが参加者自身だけでなく、参加者の所属施設に良い影響をもたらすことも本研修の期待するところである。
6. 費用 初回、最終回 各回11,000円程度（寝具レンタル料、食費等）
オンライン 無料
※初回（5月）に交流会を予定しています。

7. 申込み

令和7年4月14日（月）必着

申込書（Word）に必要事項を全て入力し、メールにて申込書を送付してください。

（宛先：musashino.kensyu@cfa.go.jp）

※必要事項が全て記入されていない場合、受け付けられないことがあります。

なお、やむを得ない場合のみ、PDF 又は郵送でも受け付けます。

※ここ数年、各自治体間のメールシステム・セキュリティシステムの違いから、ファイルを添付すると届かないという事態が何件もあり、申込みが漏れるということがありました。メール送信の際には、開封通知をつけるなど、確認がとれるようにして申込みが漏れないようにしていただけますようお願いいたします。

